



落合 康之 議員



## イノシシの観光資源化について

**問** 現在、日本の各地でクマによる被害が報告されている。幸いにも古河市ではクマによる被害は報告されていないが、イノシシによる被害の報告はあるようだ。①渡良瀬遊水地にすむイノシシの頭数は。②市内の河川敷や畑等で見られることはあるか。③捕獲されたイノシシは殺処分され、埋められたり焼却処分されていると聞く。ジビエ料理など観光資源として利用を検討

試してみてもどうか。④命あるものを、駆除して焼却処分するのではなく、ありがたく頂くべきであると思うが、市長の所見を伺う。

**答** ①令和7年3月、渡良瀬遊水地連携捕獲協議会でドローンによる生息数調査を実施し、1,044頭を確認した。②主に渡良瀬遊水地、渡良瀬川、利根川の河川敷内と、その堤防周辺の田畑、空き地等で出没し、市民からも目撃情報が寄せられている。③渡良瀬遊水地で捕獲したイノシシをジビエ料理として提供する場合、捕獲したイノシシの解体処理施設の確保や安定した供給量の確保など、食用に供するためには課題が多々ある。まずは、喫緊の課題である農作

物の被害を防ぐため、イノシシ捕獲に注力していきたい。ジビエ料理という新たな試みも視野に入れ、先進地を視察するなどし、提供に至るまでの課題を研究していきたい。④ジビエ料理に関しては、遊水地内のイノシシを捕獲するとしても、古河市でどの程度捕獲できるか分からない。渡良瀬遊水地保全・利活用協議会を構成する4市2町で協調し、話を進めたい。



## 《その他の質問》

- ・NHK 受信契約について
- ・高等教育機関の誘致について



増田 悟 議員



## 環境問題について

**問** 産業廃棄物の不法投棄については令和6年第4回定例会で質問し、立ち入りによる行政指導やドローンによる堆積量の計測をしているとの答弁であった。①その後の状況を伺う。②1年間でどのくらいの堆積量が運搬されたか。③産業廃棄物の出どころと種類について伺う。④産業廃棄物収集運搬の許可を得ているのか。⑤産業廃棄物の山近辺には住宅団地があり苦情があ

ると思う。第20地区の地区長から要望書が提出されているが、苦情の件数および内容について伺う。⑥近所の住民の方々が山林火災などの心配をされている。今後の対策について、市長へ伺う。

**答** ①改善の様子がないため、現在も行政指導や、堆積量の計測をしている。②県西県民センターに確認したところ、ドローン計測により確実に増えていると認識しているが、正式な数量は一般公表していないとのことである。③今埋め立てている会社が自社で請け負った解体現場の廃棄物となり、木くず、廃プラスチック類、がれき類等である。④排出事業者自らが産業廃棄物を運搬する場合、他社から

委託を受けて処理するものではないため、許可が不要となる。⑤年間で数件あり、堆積量に関して心配だという声や、悪臭や発火に関する苦情が寄せられている。⑥今後も引き続き監視パトロール、市民からの通報等に基づき、県や警察、関係機関と連携を取りながら対応を図っていく。また、不法投棄は絶対に許さないという強い姿勢を持って、市民が安全安心に暮らせるまちづくりを継続していきたい。



下尾崎地区に山積みされた産業廃棄物